

研究主題

自ら学びに向かう力・人間性等の育成（社会情緒的コンピテンスの育成）  
～健康リテラシーを育む教育を通して～

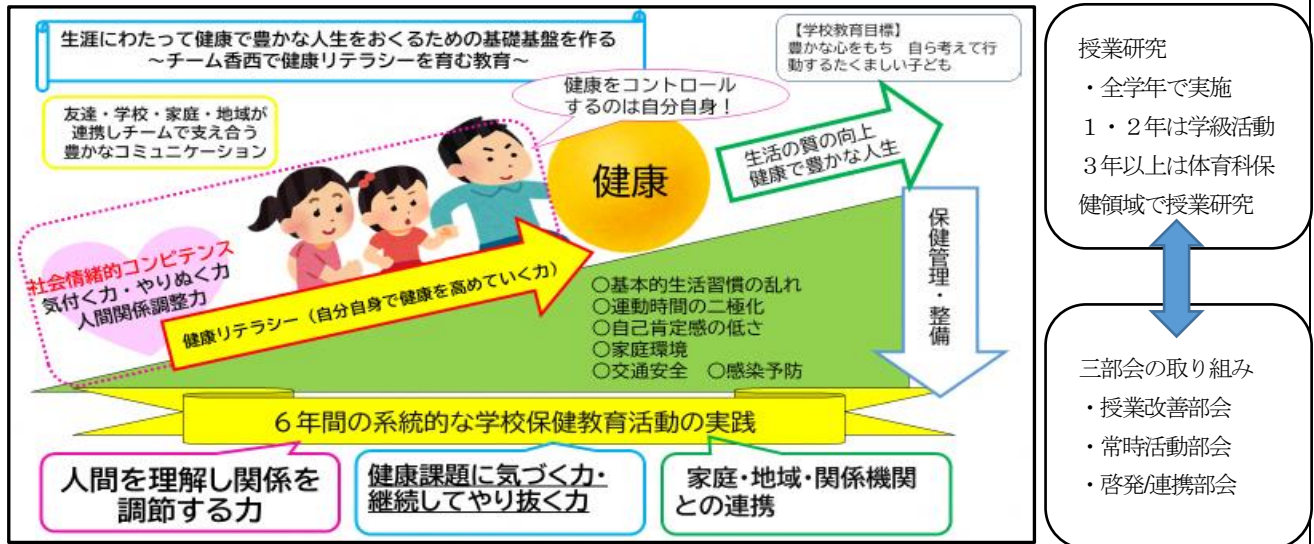
○ 研究の具体 <新しい時代の保健教育の在り方を授業改善と常時活動で実践>

情報化社会の発達によりネット依存症などの問題とともに、コロナ禍によるマスクの着用や外出の制限など、子どもたちを取り巻く生活環境が大きく変化した。さらに虫歯治療率の低下、肥満率の増加など子どもの健康維持・増進において学校現場での保健教育は重要な役割を担っている。

そこで本校では、子どもたちが生涯にわたって自分の健康課題に対し、主体的に課題解決に取り組み、健康で豊かな生活を送ろうとする力（健康リテラシー）を育むことを目指して研究を行っている。（下図：構想図）

新学習指導要領では、生きる力として「自ら学びに向かう力・人間性等の育成」が柱の一つとして明示されている。本校ではこうした力を育成する基盤として「最後までやり抜く力」「気付く力」（社会情緒的コンピテンス）に焦点をあて、研究授業や常時活動の改善を行いながら新しい時代にふさわしい保健教育をめざしている。

<研究のもととなる保健教育の構想図>

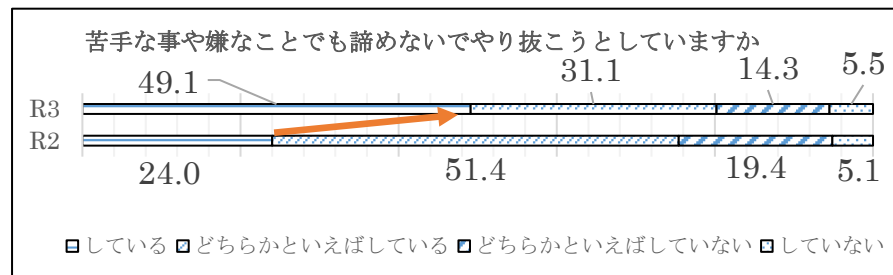


○ 健康リテラシーを育む三部会の取り組み

授業改善部会	常時活動部会	啓発・連携部会
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書やICT機器の効果的な活用（情報活用）</li> <li>○ 学習意欲を高める課題設定や発問の工夫</li> <li>○ 児童の主体的な課題解決に向けた授業中の「しかけ」の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パワーアップタイムやふれあいタイムの推進（体力向上・自己肯定感の育成）</li> <li>○ 校内掲示の工夫</li> <li>○ 自己有用感を高める「振り返り活動」の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ データ分析による実態把握</li> <li>○ 自主的な体力向上に向けた「運動チャレンジコーナー」の設置</li> <li>○ 効果的な情報発信（学校だより・ブログの活用）</li> <li>○ 実効的な家庭連携の在り方</li> </ul>

○ 研究の検証及び改善の手立て

- ・ 県学習状況調査（児童質問紙）や学校評価（児童アンケート）の「やり抜く力」に関する項目で検証。
- ・ 保健の授業後やすこやかチェック、歯磨きオリンピック等の活動終了時にふり返る「未来ノート」で検証。



チャレンジ項目	かんばり度
○ すこやかチェック①	◎○△
○ 歯みがきオリンピック②	◎○△
○ パワーアップタイム（朝の活動）	◎○△
○ スマートメディア チャレンジデー	◎○△

<未来ノートの一部>